

真空ポンプ製造業を含む製造業における県内初のスマートファクトリーモデルの実現

総事業費 10,380,186円

事業者名：アルバック機工株式会社
(所在地：西都市)

事業の内容

事業目的・概要

- 世界一流の真空ポンプメーカーを目指している当社では宮崎工場のスマートファクトリーの実現に向けて、2021年3月にチームを立ち上げてDX(DX : Digital Transformation)活動を開始した。
- これまで生産現場にIoTの設置、県工業技術センターなどの共同研究、様々なデータをインターネット経由でシステムに繋げて生産状況を可視化する取組など、一定の取組は行っている。
- これらの取組はもちろんのこと、本事業では県内初のスマートファクトリーを実現すべく、更なる工場生産力の見える化、ロボット等による現場の無人化、独自AIアルゴリズムの構築などを実施する。

実装フィールド

- アルバック機工株式会社 宮崎工場

活用する先端ICT

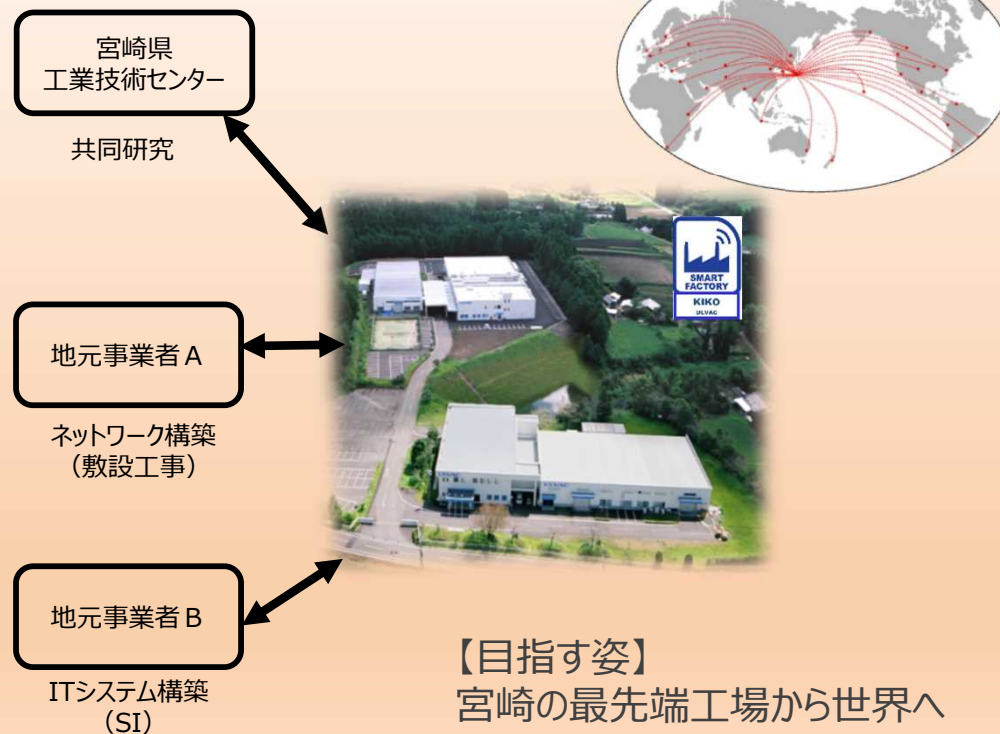
- センシング技術を活用した更なる工場生産力の見える化
- 既存ロボットをアレンジしたピッキングロボットによる生産現場の無人化
- AIカメラの画像処理技術 (新しいアルゴリズムを開発)
- 上記をつなぐ独自のネットワーク環境構築
- データ蓄積と解析の為のサーバー関連機器およびソフトウェア(AI)

本事業の目標

複数の先端ICTを組み合わせた県内初のスマートファクトリーの実現により、①作業入力時間を80%削減、②WIP (Work in Process) を80%減少、③書類業務を70%削減を目指す。

事業スキーム等

県の補助事業を活用し、様々な機関と協力しながら、県内初の高レベルのスマートファクトリーを実現する。



※敷設工事とSIの業者は現時点での情報



～ここが先駆的～

センシング(IoT)技術による見える化、ロボットによる無人化、独自AIアルゴリズムによるAI画像処理など、複数の先端ICTを組み合わせたこれまでに無いスマートファクトリーのモデルの実現